# 道路法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令案 新旧対照条文 目次

都市再生特別措置法施行令(平成十四年政令第百九十号)(抄)(附則第三項関係)	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	
	市再生特別措置法施行令(平成十四年政令第百九十号)(抄)(附則第三項関係)	路の修繕に関する法律の施行に関する政令(昭和二十四年政令第六十一号)(抄)(附則第二項関係)	- 日本道路公団等の民営化に伴う経過措置及び関係政令の整備等に関する政令(平成十七年政令第二百三号)(抄)	速自動車国道法施行令(昭和三十二年政令第二百五号)(抄)(第三条関係) :	· 道路整備特別措置法施行令(昭和三十一年政令第三百十九号)(抄)(第二条関係)	道路法施行令(昭和二十七年政令第四百七十九号)(抄)(第一条関係)	
(条)			〈係) ::				
55 54 52 49 28 1	55	54	52	49	28	1	

 $\bigcirc$ 道路法施行令(昭和二十七年政令第四百七十九号)(抄)(第一条関係)

(傍線の部分は改正部分)

				第	
九	二分八	_	項	表のとお定し、管理のとお定し、	
十三条第二 七項及び第 五十条第二	(略)	第一項 次第 第一項 及び 第一項 及び 第一項 及び 条第 第十三条 第十三条 第十三条 第十三条 第十二条 第十二条 第十二条 第十二条 第十二条 第十二条 第十二条 第十二	規定を替える	りとする。	改
県 他の都道府	略)	都 道 府 県	れる字句	の適用につの適用につ	正
都道府県	(略)	指定市	項の場合) 京の場合)	いての技術的に	案
都道府県	(略)	が 市 市 以外	項の場合) 読み替える	読替えは、次おける同条第	
				の九	
	1			第	
九	二八八	<u> </u>	項	表のの規定の規定を表現の	
ル 七項、第五十条第 第五十条第	二	五 四 第 第 第 一 項 ア 第 五 項 で 、 第 五 十 条 第 一 項 、 第 十 三 条 、 第 十 三 条 、 第 十 三 条 十 三 条 十 三 条 十 三 条 、 第 十 三 条 、 第 十 三 条 、 第 十 三 条 、 第 十 三 条 、 第 、 第 、 第 、 第 、 第 、 第 、 第 、 第 、 第 、	項規定表替える	とおりとする 規定による法 の七 法第十 理の特例の場	現
十七		五項 三項、第十 三元十 二元十 二元十 二元十 二元十 二元十 二元十 二元十 二	規 競 定 み	とおりとする 規定による法 の七 法第十 理の特例の場	現
十三条第二 七項、第五 六項及び第 県 の都道	(略)	第第条項十第	規	とおりとする 規定による法 の七 法第十 理の特例の場	現
十三条第二他の都道府都道府	(略) (略)	ティック (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	規定れる字句写句規定れる字句字句	とおりとする。規定による法の規定の適用についての七、法第十七条第一項又は第二項理の特例の場合の読替規定)	

	→ = =	項
二十二条第一項第二十一条、第	(略)	読み替える規定
道路管理者	(略)	字句 字句 おんしょうれる
道路管理者等	(略)	読み替える字句

十十四二		+ -	+	
略)		八 項 五 十 条 第	七 第 項	項
(略)	県 関係都道府	県 する都道府 国道の所在	道府県 が一番である がある。	
(略)	県係都道府指定市及び	する指定市	定市 が在する指	
(略)	係都道府県 の市及び関 り り	もの の所在する は定市以外	するもの の市で当該 の所在	

定の適用についての技術的読替えは、次の表のとおりとする。法第十七条第四項の場合における同条第九項の規定による法の 規定の \ <u>=</u> 項 適用につい 二十二条第 読み 第二十一条、 略) ・替える規 .ての技術的読替えは、次の表の.項の場合における同条第九項の 項 第 定 字読句み 道路管理者 略 替えら れ る 道路管理者等 読 略 み とおりとする。 規定による法の 替える字句

3 2 法第十七条第四百(略)

3 2

(略)

規

十十四二 + +岩 五 十条 第 六項 第五十条第 項 略 県 関係都道 窓 県する都道宮国道の所有 道所当 世府県 別在する都 国該国道の 略 府 在 府 県 関係都道府 指定市及び 定市 所在する指 の する 国道 略 指の 定市在 もの の所在する は定市以外 国道の所在 お定市以外 係都道府県 の市及び関 指定市以外 つるもの 略

兀

十の項第四十第八第十び二、の五四十第二、条一十び十条八五三第八六、一十七四条二八第十第二、十四四十第六第項第一十七第六第四十第十第四十第一条二条項第四十四四条十第一八第十十二四条一八第十十十第四条一八第四十第四条一八第四十第四条三十第二、の項条

兀

치	五.	
第 一項 一項 一項 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	(略)	条第一項を発売の二第の一項及び第二項を第五項を発売の二第九十六
理者は、道路啓 開計画の作成及 防議並びに道路 啓開計画の作成及 と で変更に関する は の で の で の の に り は る り る り る り る り る り る り る り る り る り	(略)	
等は 管理を行う二以 管理を行う二以 の道路管理者	(略)	
) (新 設	五	
(新設)	(略)	明 第九十一条第一項 が第二項前段、 第九十二条第一項大十二条第一項
(新設)	(略)	
(新設)	(略)	
	第一項理者は、道路啓 開計画の作成及 協議並びに道路管理を行う二以 上の道路管理者(新設)で変更に関する 協議並びに道路等は 一項 を接関連道路の (新設)(新設)	(略)

八八	-	<u> </u>	十六	十 五	四 八 ~ 十	
(略)		第五十条第八項	第五十条第七項	五十三条第二項 第五十条第七項	(略)	第六項、第四十八条の二十六第 十第二項、第四十八条の六十二 十八条の六十二 十八条の六十二 十八条の六十二
(略)	関係都道府県	都道府県国道の所在する	する都道府県当該国道の所在	他の都道府県	(略)	
(略)	係都道府県 の市町村及び関 当該指定市以外	在するもの町村で国道の所指定市以外の市	の所在するもの町村で当該国道	都道府県	(略)	
+1	_	니	4	41	三七	
十七~	7	+	士五	一一四	三七	
(略)		第五十条第七項	第五十条第六項	五十三条第二項第五十条第六項	(略)	項及び第三項、第四十八条の二十六第一の一十八第一の一十八第一の一十八第一の一十六第一の一十八第一の一十八第一の一十八十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十
(略)	関係都道府県	都道府県国道の所在する	する都道府県当該国道の所在	他の都道府県	(略)	
(略)	係都道府県 の市町村及び関 当該指定市以外	在するもの町村で国道の所	の所在するもの 町村で当該国道	都道府県	(略)	

			4	
	- -	項	規 定の 適十	二十九
第二十一条、第二十二条第二十二条、第三十二条、第三十二条第三十二条第三十九条の六第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条。	(略)	読み替える規定	定の適用についての技術的読替法第十七条第六項の場合におけ	
道 路 管 理 者	(略)	字句読み替えられる	えは、次のる同条第九	
道 路 管 理 者 等	(略)	読み替える字句	表のとおりとする。項の規定による法の	
			4	
	_			
	· =	項	の第一適十	二十八
項、第二十一条、第二十二条第一項、第三十二条第三十二条第三十二条第三十二条第三十二条第三十五項がら第三十九条の三第一項及び第三十九条の五第三十九条の第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五第三十九条の五十九条の五十九条。第三十二条第三十二条第三十二条第三十二条第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条章,第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条第三十二条。第三十二条第三十二条第三十二条第三十二条第三十二条第三十二条第三十二条第三十二条	(略)	読み替える規定	規定の適用についての技術と第十七条第六項の場合	
道 路 管 理 者	(略)	字句	いての技術的読替えは、次の表のとおりとする。六項の場合における同条第九項の規定による法の	
者 		れる	次第の九	

四	
及 項 第 三 十 八 第 三 十 八 第 三 十 八 第 三 十 元 第 三 十 元 第 三 十 元 第 三 十 元 第 元 第 元 年 元 第 元 年 元 第 元 年 元 第 元 年 元 第 元 年 元 第 元 年 元 第 元 十 元 第 元 年 元 第 元 年 元 第 元 年 元 第 元 年 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 第 十 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元	第五項 第五項 第九十二条の 二、第九十五条の 二、第九十五条の 二、第九十五条の 二条の二第一
道 路 管 理 者 は、、	
道 路 管 理 者 も は 、 が	
四	
第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	条第一項から第 十二条第一項から第 明及び第三項、第七 中二条の二第一項及び第二項、第九十二条の 第九十二条第二項、第七 十二条の 第九十二条第二項、第七
道 路 管 理 者 は、	

			6 5	
	一~八	項	規定の適用に(略)	二五分十
第三十条 第三十条 第三十十条 第三十十条 第三十二条 第三十二 第三十二条 第三十二 第三十二 第三十二 第三十二十二 第三十二十二 第三十二十二 第三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	(略)	読み替える規定	ついてのの	(略)
道 路 管 理 者	(略)	字句字のおる	技術的読替えは、次の場合における同条第九	(略)
道路管理者等	(略)	読み替える字句	の表のとおりとする。九項の規定による法の	(略)
		l	° 0	
			6 5 規	<u> </u>
	一	項	定 法 の 第 十	二五分十
項 第二十条第二十条第二十八条。第三十八条。第三十十八条。第三十十二条。第三十十二条。第三十十二条。第三十十二条。第三十十九条。第三十十二条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十九条。第三十十九条。第三十十九条。第三十十二条。第三十十一条。第三十十一条。第三十一条,第三十一条。第三十一条,第三十一条。第三十一条,第二十一条,第三十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一	(略)	読み替える規定	規定の適用についての技術法第十七条第八項の場合(略)	(略)
道	( )	字読句み	的 読 お	m/z
道 路 管 理 者	(略)	字句	ての技術的読替えは、次の表のとお項の場合における同条第九項の規定	(略)

+	+	
条 項、第三十五条の	(略)	第一項、第一項、第一項、第九十五条 第五項、第十十五条 第五項、第十十十三条 第五年第一項、第十十五条 第五年第一項及び 条の二第一項及び 条の二第一項及び 条の二第一項及び 条の二第一項及び 条の二第一項及び
道路管理者は、	(略)	
道路管理者等が	(略)	
+	+	
<u></u>		
第三十三条第三十二条の二十六第四項、第四十五条の二十三条の二十三条の二十三条の二十三条の二十三条の二十三第六の二十六第四十八条の四十八条の四十八条の四十八条の二十六第四十八条の二十六第四十八条の二十六第四十八条の二十六第四十八条の二十六第二十二条第三	(略)	六十九条第一項から第五項、第七十一項が第二項を第一項及び第二項を第一項及び第二条第一項及び第二条第一項及び第二条第一項及び第二条第一項及び第二条第一項及び第二条第一項及び第二条第一項及び第二条第一項及
道路管理者は、	(略)	
道路管理者等が	(略)	

二十二 /	
(略)	及び第三項の三十八第一項及び第三項
(略)	
(略)	

ほ項四か、土 第十四八 第一 四第 八 ょ 同 条 る 八四項第条の、二 項の 几 第 第 項 項 法 二十七 三三十十 次の条の 第 のの四 項、 第 表三 の項の項第 規十 及三び十 (第 四 四 九九号 定 表 及 九 条 八 ルース 第四十八冬 一項、第四十八冬 十第の条条及 のの条 +ののび 十八四 項適の +八 七 五. 第 用十 第 第二 第 八 九 第四項並 第四十 عَ 一項 項項 条 四 つ第 す 項項項、及 及の 並十七第 三 十 及び 係 てド 7 項 第三十 る部 三十 条のの場 第 八 た、土、 条 兀 技 場 九 項の 術 項の 第 +九 合 三 十 項九条の一 二十三 に 六 九 第 八 的に 十三 第 限 係 条 読 お る一三部項条 の 二 第 四 三 る  $\mathcal{O}$ 五. 替け 条え 六 第 条 る 十三第 及び係 第項第一 第に同 十 第 分 に限  $\mathcal{O}$ 兀 \_\_ 七 つ条 る項、 条 項 項 第 第 規 +四 る。 三項 八一 部 定 のか 第 7 十条項十 は項の 第 5 三 十 を 分 人の を除 七 進 並 第  $\mathcal{O}$ 規 四定

7		
法第四	二十二八	
第四十八条の十九第一	(鮥)	第三項 第四十八条の三 年八第一項及び 第三項、
項の場合における	(鮥)	
る同条第三項の規定に	(略)	

、九八四項第項項三七六び第次の条の、二、、第条第第二 ょ 同 る 次 項 の項第項 第 第  $\mathcal{O}$ 項 項 法 (第 項十項 項 第のの「 九 兀 十二条  $\overline{+}$ 七及 表 規三 定 第 +項 カコ 及び 四 八 び لح + 八四 第第 5 条の 十八 第三 のの お 第 + 兀 第 \_ ŋ 凣 第 第 +項 五 第 項適 とす 項 項 八 項 用 第 四 第二十 条の ま まで、 第三十九名 並出十二七第 九 条の + 5 る 第 第三十 第六 部 た九、 + 九 7 条の 項の 項 第 匹 0 第及びま 条 六 九 第 技 なまで、 十三条 . 係 第 0 九 限 + 十条第一項、 る部 項、 七条項、 る。 八 的 第二 項 第 五第一 に係 及び 第四 第 替 四 条 えに 0) 項 項 第 項、 限 第 る ++ 及 規 第 第 る。 四 び項 九 定 部 八 第 三項 八 0 を 分 第 +条条 項 兀 第 条 を除り 八 のの 四第 0 潍 並 += = + + び 条 八 兀 用 項 及のご 八 に 条 第 す 二十 -六第 る  $\mathcal{O}$ 第 五.  $\mathcal{O}$ 第 九 第 第 匹 ほ項四 条 項 兀 匹 +八 十十の及条項 カ

<u>·</u>	項		
(略)	読み替える規定		
(略)	字句字句のおいる		
(略)	読み替える字句		

項

略

略

略

読

4

替

え

る

規

定

替

えら

れ

る

読

4

替える字句

字読

句み

8 項に係る部分を除く。)項(同項の表二の項、一による法の規定の適用 とする。 |4(同項の表二の項、五のによる法の規定の適用にく法第四十八条の二十二第 五の項、十三の項、十二第一項の場合にお 0) 規定を準用するほか、 河におけ 二 十 の ける えに 同 条第四 項 次の表のとおり 0 及び二十二の V ては、 項  $\mathcal{O}$ 規定 第三

8

八 ~ 十	七	一 六	項
(略)	五十三条第二項の第七項、第五十条第一項	(略)	読み替える規定
(略)	改築国道の新設又は	(略)	字句
(略)	の改築 道路である国道 歩行者利便増進	(略)	読み替える字句

玉 土交通大臣 う管理の 告 示

第二条 類い 及び管理 て は、 『理の開始の日を、あらかじめ、\*\* の日を告 は、 1を告示しなければならない。当該道路の路線名、管理の区間、管理の種2、次に掲げる管理を行おうとする場合にお

— 〈 匹 略

Ŧī. 動指道 若しくは市町 法 車 定 駐車場の 第十七条第七項の規定による指 区間外の 国 新設 村 道 道 都道府県道若しくは市町村道に附属する自己の維持若しくは災害復旧に関する工事又はの規定による指定区間外の国道、都道府県 改 築 維持、 修繕及び災害復旧以外の 管理

六

略

項項に とする。 頃(同項の表二の項による法の規定の法 に係る部分を除く。 項適用 気用について、五の <u></u>の の項、十二の技術が 規定を準用するほか、 項 0 場合に 項、 的 お 読替えにつ 十九の ける 同 項 次の表のとお 条 V 及び二十 第 ては、 匝 項 0 第三 規 ŋ 0) 定

八 <b>~</b> 十	七	一 六 六	項
(略)	五十三条第二項 及び第六項、第 第五十条第一項	(略)	読み替える規定
(略)	改築国道の新設又は	(略)	字句字のおる
(略)	の改築 道路である国道 歩行者利便増進	(略)	読み替える字句

1土交通 玉 1土交通 大臣の 世大臣は、これの行う工力 事等の告

第二 あらか 工事等の開始の日を告示 条国 以 下この だめ、 条に 当該 におい 道路の路線名、 て同じ。) しなければならない。 次に掲げる工 4、工事等の区間、工事の種類及び「を行おうとする場合においては、 工事等の区間、 事等 (工事又は 維 持 を 。 う

五. 一 〈 匹

法第十七条第七項の

(略)

道

又は市町

7村道の

維持又は災害復旧

に関する工

事 玉

規定による指定区間外の

道、

都

道

府

県

六 略

2 定に準じてその旨を告示しなければならない。 | 又は廃止しようとする場合においては、あらかじめ、||土交通大臣は、前項各号に掲げる管理の全部又は一部 の、同項の日本のでは、  $\mathcal{O}$ 了

法第二十七条第一時管理者の権限の代 代 行

第四 一 分 五 者に代わつて行う権限は、 条 (略) は、次に掲げるもの一項の規定により国 とする。 土交通大臣が道路管理

する場合を含む。 条第二項において準用する場合を含む。)の規定による許可法第三十二条第一項又は第三項(これらの規定を法第九十 え、 法第三十二条第五項 )の規定により協議し、 (法第九十 一条第二項において準用。)の規定による許可を 及び法第八十七条第

一項(法第九十一条第二項において準用する場合を含む。)の

定により当該許可に必要な条件を付すること。

七 いて準用する場合を含む。 に お 及び法第三十三条第三項 する場合を含む。 法第三十三条第二項第三号(法第九十一条第二項にお いて準用する場合を含 )の規定により利便増進誘導区域を指 む。 (同 0 規定により 条第五項 及び法第九十 (法第九十 協議すること。 条第二項に 条第 · て 準 定 項 お L

八~十二 (略

十三 法第三十九条の四第一項又は第五項 四項 。)の規定により占用入札を実施し、及び法第三十九条の四第の四第三項(法第九十一条第二項において準用する場合を含むて準用する場合を含む。)の規定により協議し、法第三十九条 知し、 (十一条第二項において準用する場合を含む。) の 定により落札者を決定すること。 (法第九十一条第二項において準用する場合を含. 法第三十九条の四 第二項 (法第九十 (これらの規定を法 一条第二項にお 規定により 0)

十 十 五 四 法第三十 九条の六第 項 (法第九 + 条第二項 んにお

> 2 了し、又は廃止しようとする場合においては、あら国土交通大臣は、前項各号に掲げる工事等の全部  $\mathcal{O}$ 規定に準じてその旨を告示しなければならない。 事等 全部又 か は ľ 部 を 同

項完

(道 路管理 者の 権限 0 代 行

第四 者に代わつて行う権限は、 条 法第二十七条第 一項の 次に掲げるもの 規定により国 土交通 とする。 大臣 が 理

一 5 五. (略)

付すること。 準用する場合を含む。)の規定により当該許可に必要な条件 与え、及び法第八十七条第一項(法第九十一条第二項におい 条第二項において準用する場合を含む。)の規定による許可 法第三十二条第一 項又は第三項 (これらの 規定を法第九 + てを を

ること。 用する場合を含む。 法第三十三条第二項第三号 の規定により (法第九十一条第二項におい 利 便 増 進 透調 区 域 を指 定 て す 潍

七

八~十二

十三 法第三十九 び す て準用する場合を含む。)の規定により占用入札 通知し、 九十一条第二項において準用する場合を含む。)の る場合を含む。) 法第三十九条の四第四項 法第三十九条の四第三項 条の の規定により落札者を決定すること。 匹 |第一項又は (法第九十一条第二項において準 第五 (法第九十一条第二項にお 項 (これらの を実施 規定により 規定を法 用及い

十十五四

7

準

法第三十 九 条の 六六第 項 (法第九 条第二項 お

,る場合を含 九 条 第二 項 (法) 0 第九 規 定により + 条 第二項 変更の 認 お 定 を V L 7 準 用 及 する場 び 法 第

合を含む。)の規定により協議すること。

# 十六~二十五 (略)

選 定し、 の規定により通知すること。  $\mathcal{O}$ 規定により協議し、 利 法第四 便増進計画について審査し、 同条第五項の規定により意見を聴 十八条の二十五第 同条第四項の規定により占用予定者を 一項 及び評価を行 及び第二項の き 並 び 規 11 定に に同条第六 同 条第三 より 歩

# 二十七~五十 (略)

2 又開は始 又は 該 完了又は廃 廃  $\mathcal{O}$ 項に規定する国土交通 止の日までの 日 三号に係る部分に限る。)の規定により告示され 第四 から同条第二項の規定により告示された当該管理の完了 止の日後にお +一号及び第四十二号に掲げる権限につい 間に限り行うことができるものとする。ただ 大臣の いても行うことができる。 権限 は、 第二条第 項 た管理の ては、 ( 第 一号 当

第 兀  $\mathcal{O}$ が 市 道 条 路 定 町 0 村が代行する権限」という。 市 管 理 以 「者に代わつて行う権限 外の 法第二十七条第二項の規定により指定市以外の 市 町 村 が 道路管理 者と協 (第三項において「指定市以外規定により指定市以外の市町村 ) は、 議 して定り 次に掲げるもののうち 8 るも  $\mathcal{O}$ とする

## 一~四 (略)

五. する場合を含む。 金、 に 金に係るも 第四 づく負担 第二十四条の二第一項の規定に基 1 同 十四四 条第三項の規定に基づく割増金 て準用する場合を含む。)の規定に基づく占 金 条の三第七項 のに限る。)、 (第 )及び第五十八条から第六十二条までの 十 六号にお (法第九十一条第二項 法第三十九条 11 --「駐車料 一づく自 自 (法第九 金等」 転 転 車 車 気にお 駐 駐 とい 車 車 用 一条 場 場 う。 て準 料  $\mathcal{O}$ 0 規定 並 第 駐 駐 用 び 車車

用する場合を含む。)の規定により変更の認定をすること。

## 十六~二十五 (略)

二十六 行者利 項 見  $\hat{O}$ 規定により占用予定者を選定し、 を聴き、 便増進 法第四 十八 ?計画について審査し、 並びに同条第六項の 条の 二十五 第 一項及び第二項 規定により通 及び評価を行 同 6条第五 知すること。 項 0 V,  $\hat{\mathcal{O}}$ 規 規 定によ 同 条第 より 匹 ŋ

## 一十七~五十 (略)

2

又 開始 の Ļ 又は第三号に係る部分に限る。)の規定により告示され 該 は廃止の 前 完了又は 前項 項 日か に規定する国 第四十一号及び第四十二号に掲げる権限につ 廃止 ら同条第二項の規定により告示された当該工事の 日までの の 日後においても行うことができる。 間に限り行うことができるものとする。 |土交通大臣の 権限は、 第二条第 項 たエ ては、 ただ 完了 事 当  $\mathcal{O}$ 

第 のが 兀 市町 指 条の 道路管理 定 市 村が代行する権限」という。 以 外の 一者に代わつて行う権限 法第二十 市 町 -七条第二項 村 が 道 **路管理**  $\hat{O}$ 社者と協 規定により指 (第三項において「指定 ) は、 議 次に掲げるもののうち して定め 定市 以外の るもの とする 市以 市 町 外村

## 一~四 (略)

五. 項 料 料 金、 る場合を含む。 基づく負担 金に係るものに限る。)、法第三十九条 法第二十四 におい 第四十四 同 1条第三項の規定に基づく割増 て準用する場合を含む。)の 金 |条の二第一項 条の三第七項 (第十 )及び第五十八条から第六十二条までの -七号にお  $\hat{O}$ (法第九十一条第 規 定に基づく自 7 駐 規定に基づく占 金 車 自 料 (法第九十一条 金等」 転 二項 転 車 車 ん に お 駐 駐 とい 車 用 場 場 . う。 料  $\mathcal{O}$ て 0 規定 第二 準 並 駐 駐 用 び 車

を徴収すること。

連絡調整を行うものを除く。 第二十八条の二 成及び変更 に関 第一 す る協 項 の規定により協議会 議 並 を組織すること。 びに道路啓開計画 (道  $\mathcal{O}$ 実施 路 路開計 係る 画

(削る)

# 2・3 (略) 七~二十八 (略)

第四条の三(略)

2 (略)

は廃止の日後においても行うことができる。 第四十一号及び第四十二号に掲げる権限については、当該完了又の間に限り行うことができるものとする。ただし、第四条第一項の間に限る。)の規定により告示された当該管理の完了又は廃止の日まで第二項の規定により告示された管理の開始の日から同条3 国土交通大臣が代行する権限は、第二条第一項(第四号に係る

第 臣が代行する権限」という。)は、 う場合において、 交通大臣が道路管理者と協議して定めるものとする。 川 は、大子する権限」という。)は、次に掲げるもののうち、国土達路管理者に代わつて行う権限(第三項において「国土交通大場合において、法第二十七条第三項の規定により国土交通大臣駐車場の新設、改築、維持、修繕及び災害復旧以外の管理を行す者し、1000年7月11日 条 若 0 兀 しくは災害復旧 法第十七条第七項の規定により国土交通大臣 に関する工事又は道路 の附 属物 で 品が道路の

一 (略)

二 第四条の二第一項第二号、第四号及び第十三号に掲げる権

を徴収すること。

。
六 法第二十八条の二第一項の規定により協議会を組織すること

七 定により協議すること。 準 7 法第三 甪 準 条の六 する場合を含む。 用 す んる場 一 十 二 第 項 一合を含む。 一条第五 ħ 項 6 第三 並 0 び 規 + 定 第 を法 第四 一十九 条第二 第 条の 九 項 + 条 0 兀 同 条 第 条第五 + 第 項  $\pm$ 反び 項 項 べにお 第三 項 お 0) V 規 て

八~二十九 (略)

・3 (略)

2

第四条の三 (略)

2 (略)

は廃止の日後においても行うことができる。第四十一号及び第四十二号に掲げる権限については、当該完了又の間に限り行うことができるものとする。ただし、第四条第一項の規定により告示された当該工事の完了又は廃止の日まで第二項の規定により告示された工事の開始の日から同条部分に限る。)の規定により告示された工事の開始の日から同条3 国土交通大臣が代行する権限は、第二条第一項(第四号に係る

**(略** 

限

第四条の二第一項第二号、第四号及び第十四号に掲げる権限

五三 兀 略

知さ 措 六 を処分す 定によ 置 ŋ せ をとることを命 害  $\mathcal{O}$ る措 対 第 ること。 n 及 策 基 他 び 置 をと 項 人 車 本 両そ 0  $\mathcal{O}$ 法 り 規 土 昭 地 0 定 和三 同 を 他 に より 条第三 同 0 物件 条第 + 時 道 使 を破 項 路 用 年 項 法 0 0 L 規 区 損  $\mathcal{O}$ 律 規 間 又 定 第 L は 定 を に より に 百 竹 並 指 木 び ょ 定 に同 + そ 自 ŋ 当 0 6 条第四 号 該 他 必 及 要な措置 X 0 び 間 障 必 第 を 周 な 害 項 七 物  $\mathcal{O}$ 

2 3 間に限り行うことができるものとする。ただし、 兀 分に限る。)の規定により告示された管理の開始の日 国土交通大臣 の規定により告示された当該管理の完了又は廃止の日 一号に掲げる権限につ が代 行 する権限は、 11 ては、 第二条第 当該完了又は廃 項 (第五 第四条第 止の から 뭉 に 日 同 後 に 項 ま同で条 係 る

お第 ても行うことができる。

第 が 交通大臣が道路管理 臣 五. が代行する権限」という。 道 の 二 路管理者に代わつて行う権限 法第四十八条の十 者と協議 。 ) は、 九 して定めるものとする。 第二項 、次に掲げるもののうち、国土(第三項において「国土交通大三項の規定により国土交通大臣

(略

第四条 第四 一条の二  $\mathcal{O}$ 兀 第 第 項 項 第二 第 <del>Т</del>. 号、 号 に掲 第四 げ 一号及び る 権 限 第十三号 に掲 げ る 権 限

四三

3 2 二項 間に限り行うことができるものとする。 分に限る。)の規定により告示された管理の開始の 玉 土交通大臣 の規定により告 一号に掲げる権限につい 1が代行 ける 示され 権限 た当該管理の完了又は廃止の ては、 は、 第二条 当該完了又は廃 ただし、 第 項 (第六号に 第 四 日 止 条第 0 か 第一項 日 5 同 後 係 E 条 る

兀

略

2

3

又は廃止の日までの間に限り行うことができるものとする。から同条第二項の規定により告示された当該維持又は工事の部分に限る。)の規定により告示された当該維持又は工事の部分に限る。)の規定により告示されてネー 又は廃止 国土交通 第四条第一項 の日後においても行うことができる。 大臣 が (第四十一号に掲げる権限につ 代 する権限 第二条第 項 (第五 完了 ただ 完了 0) 係 日

交通大臣が 臣 五. が が 道 路管理 代行する権限」という。)は、 の 二 法第四 道 者に代わつて行う権限 足路管理 十八条の 者と協議して定めるもの + 九 第二 (第三項におい 一項の 次に掲げるもの 規 定により とする。 、 て 「 国 0) 玉 うち、 土 方、国土交通大臣

第

略

(新設) 第四 \_ 条 0 第 項 第二 - 号、 第 四 号 及 び 第 + 匹 一号に 掲 げ る 権

限

3

2

の間に限. 第 部 四 分に限る。)の 国土交通大臣が 品に限り 号に掲げる権限につい 規定により告示され 行うことができるものとする。ただし 規定により告示された維持の開 代行する権限 た当該維持 ては、 は、 当該完了又は 0 完了又 第 項 始の は 廃 廃 四 止 止 日 条 0)  $\mathcal{O}$ か 日 日 ら ま 同 後 項 で 条る

お ても 行うことができる。

第  $\mathcal{O}$ 定  $\mathcal{O}$ 五. とする。 のうち、 市以外の市町村が代行する権限」という。)は、 町村が道路管理者に代わつて行う権限 0 法第四 指定市以外の市町村が道路管理者と協議して定めるも が代行する権限」という。)は、次に掲げるも1理者に代わつて行う権限(第三項において「指1十八条の二十二第三項の規定により指定市以外

ら第十四号まで 掲げる権限 第四条の二第一 項第二号から第四号まで、 七号及び第十九号から第二十八号までに 第六号、 第 九号 カュ

三~六

## 2

見 国 の聴取等) 土 交通大臣等が道路管理者の権限を代行 する場合における意

第六条

(略)

2 じめ、 管理者に代わつて次に掲げる権限を行おうとするときは、 指定市以外の市町村は、 道路管理 生者の 意見を聴か 法第二十七条第二項の なけ れ ばならない 規定により道路 あら か

連絡調整を行うも 作成及び変更に関 法第二十八条の二第一 のを除く。 する協立 項 議 0 規 並 を組織すること。 定により協議会 び に道路啓開計 画 (道路啓開計  $\mathcal{O}$ 実 施 に 係る 画

#### (略)

3 • 4

5 遅滞なく、その旨を道路管理者に通知しなければならない。 道路管理者に代わつて次に掲げる権限を行つた場合においては、 国土交通大臣は、 法第二十七条第一項又は第三項の規定により

第四条第一項第一号に掲げる権限

お ても行うことができる。

第  $\mathcal{O}$ 定市以外の市町村が代行する権限」という。)は、の市町村が道路管理者に代わつて行う権限(第三項 五. 0 とする。 のうち、 0) 法第四 指定市以外の市町 + -八条の二十二第三項の規定により指 対が道路管理者と協議して定めるも リ。) は、次に掲げるも 限(第三項において「指 の規定により指定市以外

#### (略)

号までに掲げる権限第十号から第十五号ま 第四条の二第 項 (第二号から第四号まで、 号及び第 |十号から第二 第六号、 第七 十九 号、

(略)

### 2 •

見の (国 聴取等) 土交通大臣 上等が 道路管理者の 権限を代行する場合に おける

#### 第六条 (略)

じめ、 管理者に代わつて次に掲げる権限を行おうとするときは、 指定市以外の 道路管理 一者の 市町 村は、 意見を聴か 法第二十七条第二項 なけ れ ば ならない  $\widehat{\mathcal{O}}$ 規 定により あ 道路 6

か

#### (略)

法第二十 凣 条の 一第 項 0 規 流定に より 協議 会を 組 織 す ること

#### (略)

3

5 国土交通大臣は、 第四条第一項

#### 

ること。 用 でする場合 法 第二 十三 合を含む。 条 第 項 第二 0 規定により 号 (法: 第 利便增加 九 + 進誘導区域を指 条 第 項 iz お 1 定す 7 準

## 四~十(略)

一 第四条第一項第一号、第八号及び第十七号、第四条の二第一なく、その旨を道路管理者に通知しなければならない。管理者に代わつて次に掲げる権限を行つた場合においては、遅滞6 指定市以外の市町村は、法第二十七条第二項の規定により道路

及び第二十八号並びに前項第二号から第十号までに掲げる権限る部分に限る。)、第十九号、第二十一号から第二十四号まで、大十第一項の規定による指定に係る部分に限る。)、第十一号、第三号、第六号、第七号、第八号、第十号(法第四十八条の項第三号、第六号、第七号、第八号及び第十七号、第四条の二第一

### 二~四(略)

7

# 一 第四条の二第一項第三号に掲げる権限

# 二 第五項各号に掲げる権限

9 なく、 管 理者に代わつて次に掲げる権限を行つた場合においては、 玉 1土交通-その旨を道路管理者に通 大臣 は、 法第四 + 凣 知しなけ 条  $\mathcal{O}$ + 九 ればならない 第二 項  $\mathcal{O}$ 規定に より 遅 道 滞 路

#### \_\_\_\_\_(略

#### (新設)

### 三~九 (略)

なく、その旨を道路管理者に通知しなければならない。管理者に代わつて次に掲げる権限を行つた場合においては、遅6 指定市以外の市町村は、法第二十七条第二項の規定により道

滞

十 取 消 掲げる権限 兀 の二第一項第三号、第六号、 消しに係る部分に限る。)、第二十号、 第十二号 十八条の六十第一項の規定による指定に係る部分に限る。) 第四条第一項 一号まで及び (法第四十八条の六十二第三項の規定による指 第二十九号並びに前項第二号から第九号までに 第一号、 第七号、 第八号、 第八号及び第十七号、 第九号、 第二十二号から第 第十 一 号 (法 第四 定 0 第 条

## 二~四 (略)

#### 7 (略)

8 限又は第 いて、これらの者は、法第二十二を等に受りまする場合に管理する場合又は他の工作物の管理者が道路を管理する場合に道路 旨を道 者に代わつて第四条の二 路管理 第五項各号に掲げる権限を行つたときは、 者に 通知し なけ 第 項 れ ば 第三号若しくは ならない。 第六号に掲げる権定により道路管理 遅 滞 はなく、 その お

9 なで、管理が 玉 1土交通 |者に代わつて次に掲げる権限を行つた場合において その 旨を道路管理者に通 大臣 は、 法 第四 凣 条の 知しなけ 九 れば なら 項 0 定により 道 遅 滞 路

#### 第 五. 項 第 兀 뭉 及 び 第八 一号に 掲 げる 権

10 0) ょ にこの条第 六十二第三項の規定による指定の取消 定による指定に係る部分に限る。)、第十 ŋ 道路管理者に通知しなければならない までに掲げる権限を行つた場合においては、 道 + 第二十号、 定 九号、 項 路管理者に代わつて第四条第一市以外の市町村は、法第四十八 第三号、 (五項第二号から第十号まで及び第六項第二号から第十号まで及び第六項第二号から第四、第二十一号から第二十四号まで及び第二十八号並び一三項の規定による指定の耳シートイニー 第二十一号、 第六号、 第十号 第三十号及び第三十一号、 (法第四十八条の六十第 項 条 第 の二十二 一号、 一 号 第 第 (法第四 八号、 三項 第四 0 一十八条 第 規 「 条 の 項 +定  $\mathcal{O}$ Ł 10

11

七 は 施設は、 法第三十二条第一項第七号の政令で定める工作物、の構造又は交通に支障を及ぼすおそれのある工作物 次に掲げるも のとする。 物件 又

第

は

施設は、

次に掲

げるもの

とする。

第

5 (略)

兀 +; 害応急対 常 施設 第 災害応急対策 必要 用 二号及び第四号において同じ。 防 災拠 電 (都 であると認め 気等供給施設をいう。)その他これらに類する施 策をいう。 市再 点自 生特 動 (災害対策基本法第五十条第一 車 9において同じ。)の的確かつ円滑な実施の第十六条の三第二号イ並びに第三十五条の次害対策基本法第五十条第一項に規定する災 別措置 駐 5 5 車場に設ける備蓄 れるも 一法第十九条の十五第一  $\mathcal{O}$ 倉 庫、 非 項に規 常 用 電 定する 気等 設で

他  $\mathcal{O}$ 都 道 せる 負 担 金 に 関 する 基

第 道 府 県 条 に 玉 負 四土交通大臣は、 垣府県に分担させ 担 金  $\mathcal{O}$ 部 を分担させる場合にお 法第五十条第七項の規定により 11 ては、 玉 道 他 0) 新  $\mathcal{O}$ 設 都

> 五. 項 第二 第三 号 及 び 第七 掲げる

より 号から第四号までに掲げる権限を行つた場合におい 第四 第四十八 十第一項の規定による指定に係る部分に限る。)、 限る。)、 -九号並びにこの条第五項第二号から第九号まで及び第六項 指定 第十七号、 · 条の その旨を道路管理者に通知し 道路管理 市以外の 二第一 、条の六十二第三項の規定による指定の取 生者に代れ 第二十号、 第二十号、 項 市 (第三号、 町 わつて第四 村 は、 第二十二号から第二十五 第二十一号、 第六号、 法 第 条第 四 なければならない。 + 第十 凣 項 第三十号及び第三 条 第一号、 一 号 0 (法第四 第七 第三 号まで及び第 消 ては、 第十二号 しに係る部 項 十八条の 一十一号、 0 遅 規 第 第 八 滞 定 **(**法 六 号 分 な

11

七 ( 道 路 法第三十二条第一 0 構 :造又は交通に支障を及ぼす 項 第七号の政 りおそれ 令で定める工  $\mathcal{O}$ があるエ 一作物、 作物 物 件

~ 十 三 略

十四四 給施設 十三号) れ 11 六 片常用電. 条の うるも て同 災害応急対策 防 災拠 三第二号イ並びに第三十五条の七第二号及び第四号に 0 (都市 **党**気等供 第五十条第一 反点自 再 0) **以給施設** 的 生 動 (災害対策基本法 確 特 車 別 カュ 駐 措置 項に規定する災害応急対 (をいう。) その 車 0 円 場に設ける備 |法第十九条の十五 滑な実施の (昭 他これ ため 蓄倉庫、 和三十六年 必要であると認 らに 第一 対策をい 非 項に 常 法 類 気する施 用 律 ´う。 第二 規 電 定 一百二 でする め 設 お で 5

他  $\mathcal{O}$ 都 道 府県に 分担 させ る 負 担 金 関 す Ź 基 準

第二十 道 府 県 条 に 負 玉 担 土交通大臣 金 0) 部を分担させる場合にお ェは、 法第五 十条第六項 0 1 ては、 規定により 国 道 他 0 新  $\mathcal{O}$ 設 都

又

割該又 玉 合 は 道改 を 考 の築 慮 所に 在する ょ て国 0 て当 l土交通· 都 道該 府 他 大臣 県の 及都 び当府 が 定め 該県 る額 他の の受 を分担 都け 道る 府 利 県 益 させるも  $\mathcal{O}$ 受 程 け 度 0 る 並 とす 利び 益に る の当

#### 等 負 担

と額 入 びの五 内 し 命 該 係 負 る収割 いう。 十三条 た 金 ぜ 額 担 を 第 新 玉  $\mathcal{O}$ 額。 \_ と 6 控 六 に 設 道 玉 八金を除る とする。 第二十-等に 当 れ 除 十二条後段  $\mathcal{O}$ 条 府 道 た他 いう。 第一 以 新 該 L  $\mathcal{O}$ に、 た額。 収入金 下こ 要する費 設 災 玉 等」と 項 害  $\mathcal{O}$ 九 土 それの法第一 条の 都  $\mathcal{O}$ 0) 復 交 規 以 があるとき 又は 旧通 節 道  $\mathcal{O}$ 以下この 規 府県 下この 額 用 定 に 乗じて得 五. 1 大 う。 地方道 を加 臣 +定による負 のに お 条第一 下こ 額 が ょ VI が )を行う場 あ て 算 節 ŋ 玉 (法 こは、 項にて領 るとき にお 路 玉  $\mathcal{O}$ 国 道 公社法 庫 項 第  $\mathcal{O}$ 文は 別五十八条から 単に納付するな おいて同じて収入金 担 及び 同 当 道 11 新 ⊺該費用 は、 条第 て 金 新 設 物合における第二十三年 国 第二項に定め 议 若 設 ~昭 等当七都該項 する負 しく の額から じ。 道 (指 和 新設 5 ける  $\mathcal{O}$ 兀 道額 は か規 定区 十五 第 担 府 改 %定に 章に 5 が 等 六 都 第 県 金 築 間内 負 担 担 あ る 負担 当 年法 + 道  $\mathcal{O}$ 又 により 該 額 るときは 都 お 項 は 府 条まで及 の県が法第  $\mathcal{O}$ 基 額 額 道 収 1 律 に 指 分担 を控 国 府 本 入 て 第 お 定 金 八 لح 県 額 金 「 収 道 い区 当にの + 除 を 7 間 第二

3 2 に 玉 用 お  $\mathcal{O}$ る 玉 X.  $\mathcal{O}$ 負 け 新 工 土 土 担る都 交通. 間 額 事 設 を行 通 に 大臣 大臣 玉 改 相  $\mathcal{O}$ 道 当 'う場 額 築、 道 府 する額 県が 維 は、 が が 合又 都 持 維 指 法第 当 道 等 持 定 府県 は 都 該 X. ( 第 維持 五十三条 修 道 指 間 道 )繕及び災害 府県 二十三条 外 定 だおしくは 若 区  $\mathcal{O}$ 負 間 L 玉 担 < 第 外 道 は 額第 0  $\mathcal{O}$ 工事 項 復 市 玉 維 項 لح  $\mathcal{O}$ 旧 町 道 持 及び 又は当 規 村 11 以 に 若 外 う。 しく 附 道 定 によ 第  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 属 管理 該 維持 七 す は 管 ŋ 項 る自 災 を行行 理 12 玉 若 す 害 に しく お 庫 動 復 に納 う場 要 車 旧 す は て 駐 に 合 車 関 災 る 付

> 割該又 国は 合 [を考 道改 築  $\mathcal{O}$ 所に 慮 在す ょ 7 0 国 ź 7 1土交通 都 当 該 府 他 大臣 県の 及都 び が 道 ?定め 当府 該県 る額 他の の受 感を分担 都け 道 る 利 府 させ 県 益 のの こるも 受 程 け 度 る利 0) 並 び す に 益 る 当  $\mathcal{O}$

## 築

命 護額 保る 担割 を 控いう。 ないう。 ないう。 L びの五 入 内 号) た額。 (金) と 十三条 第六 新 玉  $\mathcal{O}$ 設 玉 道 八分金を除く。日前合をそれぞれま 第二十九 十 二 繁に 当 除 れ 条  $\mathcal{O}$ 道 た他 す 以 該 71 第 新 L  $\mathcal{O}$ に、 う。 吸収入金の た額。 一条後段 下この る。 要 設 災 玉 女する 項の い 等」と  $\mathcal{O}$ 害 土交 <u></u>が 条の 都 法 復 女又は地: 費用の 第五 規 通 節 道 以 旧 %定に 額を加 以下この 下この 府県 乗じ あ 規定によ 大 に 11 う。 るときは、 臣 お +方道 額 下この て得 が 条 ょ 11 が 第 あ 節 ŋ  $\mathcal{T}$ 算 ( 法 玉 を 項に た類項 る負 るとき に Ĺ 路 玉 道 公社 第五 行う場 国 お 庫 項  $\mathcal{O}$ に納 当 担 又は第二項 道 同 お (収入金 11 及 新 は、 . て 「 条第 び 該 金 法 +設 新 11 費用 合 凣 付 第二 て 若 設 以 (昭 ける負 条か 国 当 等 六項 同 下この ľ 都 該 0 道 和 お (指 0 12 額 兀 5 道 額 新 け は !定め 十五 設 か規 カ 第 担 る 府 定 章に が 区 県 定 等 5 六 5 金 分担 に +あ 間 る 負 当 年 道 負  $\mathcal{O}$ ょ 担 法 担 内 都 該 お 項 は るときは 額 府 条 ŋ 0) 道 基 収 は、 額 額 1 律 県 に 国道 分担 ま が を 府 本 入 て 第 お 定 لح 控 で 県 金 八 額 金 の 収 玉 法 い区 11 除 当 十及道 を にの 第 て間

2 用 定 工 ŋ 事 区  $\mathcal{O}$ 玉 間 額 玉 を 土 行う場 一交通 に 庫 外 玉 相 12 当 納 大臣 渞 す 合 維 付 Ź 持 す に が ,る負担 額 お 等 指 ける 都 定 ( 第 道 X 都道外 府県 金 二十三条  $\overline{\mathcal{O}}$ 負 額 府  $\mathcal{O}$ 担 は、 県国 第 が 額 道 当 法  $\mathcal{O}$ と 項 該 第 維 及び 維持 五 持 十三 う。 又 第七 又 は んはエ 条 災 とす 項 第 害 Œ 事 復 に 項 旧 お 11 要  $\mathcal{O}$ 12 す 関 7 規 する 定 る 「指 費 に

3 玉 土 交 诵 大臣 が 都 道 府 県 道 又 は 市 町 村 道 0 維 持 又 は 害 復 旧

三条 条 以 第 外 しく 負 に 担 附 第四項及び第七項にお 額」という。 は 0 属 旧 工事 項 管 す に んる自 関 の理 規 を 又は当該管理 す っる工・ 定により 行 動 により国庫に納付する負担金の額う場合における都道府県又は市町 車 )とする。 事を 駐 車 <u>理に要する費用の額</u>の国庫に納付する負担な 行 場 う場 に要する費用の  $\mathcal{O}$ 1 新 て 設 合 「都道 又 改 は 築 都 府県 道 維 府 道 に相当する額 持 県 道 等維持等都 額は、 修 若 '村が法第五十三 繕 L Š 及 る額(第二十当該維持若 び災害 は 道 市 府県等 町 [村((<td

4 · 5 (略

(国道新設等負担基本額等の通知)

第二十三条 (略)

2 粗 第 額 Ŧī. 1土交通-担 十条第七項の を関係都道 額 並びに国 大臣 は、 府県に通知しなければならな 団新設等負担基本額及び国道新設等都道府県負別規定により他の都道府県に分担を命じたときは、国道の新設又は改築を行う場合において、法 及び国道新設等都 *\* \

3 合にお て、 関 な 車 場 する工事を行う場 玉 指 0 土交通大臣 いては、 定区 新設、 凸間外国 改 築、 当該指力 は、 道 維持、 指 合又は指 維持等都 :持等都道府県負担額を通知しなければなら定区間外の国道を管理する都道府県に対し 定 区 間 修繕及び災害復旧以外の 外の 定 区 間 玉 外 道 0  $\mathcal{O}$ 維持 国 道 に附 若 しく 属 の管理を行う場属する自動車駐 は 災 害 復 旧 に

4 災 以外 村道を管理する都道府県又は市町 玉 に 1土交通-都 附 復 の管理を行う場合においては、 道府県等 属 旧 に関 する自 大臣 する 立は、 負担 動 車 工事を行う場 駐車場 額 都 を 道 府県道 通 知 0) 新設 L なけ 合又 若しくは市 対に対して、 は 改 れ これ ば 築、 都 なら 道 らの都道 維 町 府 県道 持 村 道 都 修 若  $\mathcal{O}$ 世府県道又は市 じ繕及び災害復 しくは市町村 道 維 府県 持 若しくは 道 等 維

5~8 (略)

(法定受託事務から除かれる事務)

七項にお 条 関 第 す べにお る工 項 要 1  $\mathcal{O}$ 事を行う場合にお 介する費用 規 て 定により 都 道 府県 0 額 玉 道 庫 (等 · 相 ic け 中維持等 当する額 á 納 都道 付する負 都道 府県又は (第二十三条第 担 府県等負 金  $\mathcal{O}$ 市 額町 (担額) は、 村 が 四 当 という。 該 項 第 及び 維 五. 持 第 又

4·5 (略)

とする。

、国道新設等負担基本額等の通知

| 2 | 国土交通大豆は、国道の新||第二十三条 (略)

第五 担 分担額 額 玉 1土交通 + を関係都道府県に通知しなけ -条第六項 並びに国道新設 大臣 は、  $\widehat{\mathcal{O}}$ 規定により他の 玉 道 政等負担  $\mathcal{O}$ 新 設 基本 又 都道 ればならない。 は イ額及 改 (及び国道新設等都道府県負2府県に分担を命じたときは)築を行う場合において、法

3 る 工 都 国土交通大臣は、 |事を行う場合におい け |府県に対して、 n ば なら ない。 指定区 指定区 では、当時を区間外の日 間 外 当該 玉 玉 道 置道の維 指 維 持 定区間外の国道 等 持 都 又 道 は 府 県 災 害 負 を管理す 担 復 旧 額 を に 通 関 る 知

4 道 都 を管理 関する工 国土交通 道 府 県 等 する都道 事 大臣 負 担 を 額 行う場合に は、 を通 府県又は市町村に対して、 都 知 道 府県 L おい なけ 道 ては、 又は れ ば なら 市 当 町 該 村 都道 道 都 0 府県道 道 維 持又 府 県 は 道 又 は 等 災 害 市 維 復 町 持 等村旧

5~8 (略

、法定受託事務から除かれる事務

2 第三十九 (略)

五. 第一項第五号及び第十六号並びに第五条の三第一項第三号及び第 号に掲げるものとする。 法第九十七条第一 項第三号の政令で定める事務は、 第四条の

限 (の委任)

第 兀 十 一条 (略)

2 ない。 整備局長及び北海道開発局長に委任する。ただし、法第三十一条国土交通大臣の権限のうち、次に掲げるもの以外のものは、地方 に法第九十四条第二項の規定による譲与については、この限りで第四項本文の規定による決定、同条第三項の規定による命令並び 第二項の規定による裁定、同条第五項本文及び法第三十一条の二 土交通大臣の権限のうち、 項に規定するも  $\mathcal{O}$ のほ か、 法及び法に基づく政令に規定す る 2

一 ~ 十 三 (略)

及 び同条第八項の規定により意見を聴くこと。 法第五· 十 条第七 項の規定により負担金 <u>の</u> 部を分担さ せ、

+ 五~二十六 略

3

2 九

第一 五号に掲げるものとする。 第九十七条第一 項第五号及び第十七号並びに第五条の三第一項第三号及び 項 (第三号の政令で定める事務は、 第四条の二

第

0 委任

第四十 整国 |備局長及び北海道開発局長に委任する。ただし、法第三十一条 土交通大臣の権限のうち、 前 一条 項に規定するもの 0 ほ か、 次に掲げるもの以外のものは、 法及び法に基づく政令に規定する 地 方

ない。 とい。に法第九十四条第二項の規定による譲与については、この限りでに法第九十四条第二項の規定による譲定、同条第三項の規定による命令並び第四項本文の規定による決定、同条第三項の規定による命令並び 第二項の規定による裁定、同条第五項本文及び法第三十一条の二

(略)

十四法等 及 グび同 法第五十条第六項の規定により負担金の一 :条第七項の規定により意見を聴くこと。 部を分担させ、

+ Ė. ~二十六 略

 $\bigcirc$ 道路整備特別措置法施行令(昭和三十一年政令第三百十九号)(抄)(第二条関係)

(地方道路公社の権限の代行)    (地方道路公社の権限の代行)   (地方道路公社の権限の代行)   (地方道路公社の権限の代行)   (地方道路公社の権限の代行)   (地方道路公社の権限の代行)   (地方道路公社の権限の代行)   (地方道路公社の権限の行うを表現の表現の対して定めるものとする。  土交通大臣が代行する権限」という。) は、次に掲げるもののうち、国土交通大臣が地方道路公社と協議して定めるものとする。  一 法第十七条第一項の規定により地方道路公社が道路管理者に代わつて行う権限のうち、次に掲げるものとする。  一 法第十七条第一項の規定により地方道路公社が道路管理者に代わつて行う権限のうち、次に掲げるものとする。  一 法第十七条第一項又は第二十条第一項の規定により地方道路公社が道路管理者に「規げる権限の方」を禁止し、又は制限すること。  第四十二条の十四の規定により道路の通行を禁止し、又は制限すること。  第四十七条の十四の規定により必要な措置をすることを命ずること。  第二十七条の十四の規定により必要な措置をすることを命ずること。  第二十七条の十四の規定により必要な措置をすることを命ずること。  (地方道路公社の権限の方ち、道路法第十七条第一項又は第二十七号に掲げる権限のうち、道路法第四十七条の十四の規定により必要な措置をすることを命ずること。  (地方道路公社の権限の方ち、道路法第一十一条第一項又は第二十七号に掲げる権限のうち、道路法第一十一条第一項又は第二十七号に掲げる権限のうち、道路法第一十一条第一項又は第二十七号に掲げる権限のうち、道路法第一十一条第一項又は第二十七号に掲げる権限のうち、道路法第一十一条第一項又は第二十七号に掲げる権限のうち、道路法第一十一条第一項又は第二十七号に掲げる権限のうち、道路法第一十一条第一項、第二十七号に掲げる権限のうち、道路法第一十一条第一項又は第二十七号に掲げる権限のうち、道路法第一項、第二十一条第一項、第二十七条の対域を表別では、第二十十二条の一項、第二十十二条の一項、第二十二条の一項、第二十二条の一項、第二十二条の一項、第二十二条の一項、第二十二条の一項、第二十二条の一項、第二十二条の一項、第二十二条の一項、第二十二条の一項、第二十二条の一項、第二十二条の一項、第二十二条第二項、第二項、第二十二条第二項、第二十二条第二項、第二項、第二項、第二項、第二項、第二項、第二項、第二項、第二項、第二項、	改正案	
(新設)	現行	

法第九 第一 条第 号にお せることを除く。 用 はその命じた者若 甪 て同法第七 同 を自ら行い、又はその命じた者若しくは委任した者に行 する場合を含む。 一項にお 法第三十七条第 する場合を含む。) 及び同法第七十一条第三項前段の規定により必要な措 項 又 いて同じ。 + 八は措置を命じ、 第二号又は第三 条第二項において準用する場合を含む。 いて準用する場合を含む。 十一条第二項 しくは委任した者に行 0 規定により必要な措置を自ら行 0 項 の規定により処分をし、 号 規定に係るもの並びに同法第七十 及び同法第七十 (同法第九十 (同法第九十 (これらの 規定を同法第九十 条第 に該当する場合にお わせること。 条第三 条第二項において 一項にお 又は措置を 項 以 前 ただし 段 V 下 て準 こ の (同 条 又

三  $\vdash$ は道路管理者に通知すること。 法第十七条第六項の規定により道路管理者の 災害対策基本法 ただし、 及び同条第二項の規定により協議し、 九十五条の二第一 法第十七条第一項第三十八 は第二項の規定に係るものを除く。 同法第四十六条第三項又は第四十八条の二第一項 (昭和三十六年法律第二百二十三号) 項の規定により意見を聴き、 、号に掲げる権限の 又は通知すること。 意見を聴き、 うち、 又は通知し 道路法

若

又

路 なく、 公社に代わつて第一項第一号イに掲げる権限のうち法第十七条 国土交通大臣は、 国土交通大臣は、 六条の六第八項の規定により地方道路公社が道路管理者に代わ つて行う同条第一 項 第二十八号に掲げるもの その内容を公示しなければならない。 法第三十二条の二第四項の規定により 前項の規定による協議が成立したときは、 項から第四項までの規定による権限 (道路法第四十七条の十八第 第七十 地方道 項 遅

2

3

方道路公社の意見を聴かなければならない。

規定により締結することに限る。

)を行おうとするときは、

地

準用 項又は 公社 国土交通大臣が代行する権限は、 却を命ずること。 件を変更し、 定による認定を取り消し、 を同法第九十一条第二項において準用する場合を含む。 準用する場合を含む。 九条の五第一項若しくは第三十九条の六第一項(これらの規定) しくは第三項 ○ る許可があつたものとみなされるものに限る。 こと。 第四 三十九条の二第一項(同法第九十一条第二項において準用す法第十七条第一項第十二号に掲げる権限のうち、道路法第 第一 第 る場合を含む。) 土交通大臣 第四十七条の十八第一項の規定により締結すること。 ことをも 十二条第 一項におい に代わ 法第十七条第一項第二十八号に掲げる権限のうち、 その旨を地方道路公社に通知しなけ する場合を含む。 法第十七条第 法第十七条第一 法第十七条第 項第 第二項 項 十八条の六十四の規定による協議 第 って、 つて次に掲げる権限を行 又は当該許可に係る物件の改築、 項又は 号イに掲げる権限のうち、 は、 뭉 て準用する場合を含む。 (これらの規定を同法第九十 (これらの に掲げる権限のうち、 法第三十二条の二 同 の規定により入札占用指針を定めること。 項第九 法第三 項第三十三号に掲げる権限のうち、 項 第 第三 規定を同法第九十 の規定による許可若しくは同法第三十 項 0) その効力を停止し、 規定により同法第三十二条第 一十二条第 号に掲げる権限 号又は第十号に掲げる権限 (これらの 法第三十二条の二 第四 つた場へ 項又は第三項の規定によ 規定を同法第九十 項 道路法第七十 の規定により許可 次に掲げるもの ればならない。 (当該協議が のうち 合においては 0 条第二項において 条第一 規定により 移転若しくは 若しくはその 一第三 一項にお をすること 道路法第三 成立する 道路法 条第 道路法 地 項 前 項 若 方道 0) する 条第 遅滞 1 段 条 規

4

日の から同れ 日までの間に限り行うことができるものとする。 定に 基づ 条第三項 き 公 後段 示さ 0 n 規定に基づ た同 条第 き公示された当該管理 項 、各号に掲げる管理 0 開 0) 完了 始  $\mathcal{O}$ 

# (管理の特例の場合の読替規定)

第

七条の 若しく 該道路 適用に た同 字句とする。 路公社等」とするほ 地方道路公社等は」と、 わ とあるの ŧ +十七条の二第二項中  $\mathcal{O}$ 「道路管理者は」とあるのは「地方道路公社等は」 とあるのは 者 は 0) つてこれ は 路管理者」 規 第四十条第二項又は第五十四条第一項の規定により読み替え 第三欄に掲げる字句を法第三十三条、 であるとき 条 表の第四欄に掲げる字句は、 定 第四 + 以外 第 道路整備特別措置法 という。 が 三 による法 は第十七条第 0 五第 同法第二十条第二項中 は V らの 項 十六条第 0 とい 0 道路に係るも 法第  $\mathcal{O}$ は、 「国土交通大臣」と、 規定 項中 権限 道路管 0 (国土交通省令で定める場合を除く。 う。 又は国土交通大臣及び当該他 規定により 同 十 か、 により 法第 を行う者又は国 「道路管理者を異にする二以上の 項」 道路管理者は、 項 理者若しくは同法第八 一条の二 第一 次の表の第二欄に掲げる同法の規定中同 十九条の と、 国 とあるのは のであるとき」 (昭 十四四 読み 道路管理者」 土交通大臣が管 「地方道路公社等は」と、同法第四中「国土交通大臣である道路管理者中「国土交通大臣である道路管理者 和三十 第 場 |号の規定により を替えて それぞれ同表の第五欄に掲げ 一合にお 第 土交通大臣」 項 第四十六条第 0 共用 場 年 適用 項 とあるのは ٢ 第三十五条、 法律第七 中 合におけ いては」 条第 管理 理を行う道路及び当 する道路法 共 用管理 بح 道 0 施 路管理 ... 設関係道路管 用管理施設関係 る同 とある 項 道路管理 号) 第 項」 道路に係る 同 法第四 第三十六 第 条第五  $\mathcal{O}$ とある 生者に代 とある 地方道 規定 のは 十八号 三十 者」 +  $\mathcal{O}$ 項

新設)

	1	-	項
第一項 一項 八条第	第一号 及び 第二条第二	項第二条 第二条第二	定 道
第十二条 第十二条 第十二条 第十二条 第十二条 第一 第三項 、	理者 第十八条第	理 する 道 路 管 (現 に 規定 (対 条 第 (利 ) 第 (1) 第 (1) 第 (1) 第 (1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	れ る 字 替 句 ら ら
社 地 方 道 路 公	社 地方道路公	社 地 方 道 路 公	えりの規定 十一五条 第三十三
社 等 道 路 公	社 等 道 路 公	) 道 以下「大臣 (	字   読 句   み   替   え   る

五.	四	三
五 項 十 条 第	十三条 一項、第九 九	
が 臣 す と 当 定 による 京 工 作 該 他 の 主 物 に し 協 務 大 関 の 臣 国 規	道路管理者	)」道県で国産通で国産す道に項項は には道区大は道には道路による には道間には間にはまでの第一 が管以都にはが、土あ内、指理での第一 ではする。第一
前 二 項	社 地方道路公	
が 臣 す と 定による 第二項の 協 大 関 の 臣 規	社等 地方道路公	

、第第十一九項でら四三第十八で三四項十二項十一二十五第第三十九項条、第第十一九項条、第第十十条、第条、第条、二条、十十十十十十十五十十十五十十十五十十十五十十十五十十十五十十十二十十十二十十十	
道路管理者	温泉合又は前
社 地 方 道 路 公	
社 等 方 道 路 公	当項日子は前

#### 六

八 項 の 第 八 十 四 第 の 第 八 十	十二条 、 t 七項の第名 条、十四の	♥ 】及の第	で 項、第四十 で の で の の の の の の の の の の の の の	十一四 四 明 まで、第 第 第 条 第 第 条 第	条 第四十 三 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	第九項条四条の第七
二 四 第 七 項	の第五十十十四第七四		三四第二年	条 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	第十の第二四四四	十の第七条第二十二

ス 項 項 及び第七十二 条の二第十二 第九十二	二 条 第 で 及 び 第 三 項 ま 十 項 ま 十	条 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 六 十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	七 項 十 十 二  条  、  六 四 八 号  の 第 条  、 条  、 -	条 、 条 、 条 、 二 四 九 の 第 の 第 の 第 十 円 の 四 四 三 四 三 四 九 八 三 十 十 十 十 十 十 の 条 、 九 八 三 八 二 八 四 の 第

	T			Т	Г	Г
+  	+1		九	八	七	
項、第三十九条 第三十九条	の 二第 六項 条		第二十四条	第二十一条	六項 第二十条第	五月十六条第九十六条第十十五
道路管理者	道路管理者を除く	が 選	以 外 路管 理者	協議	道路管理者	
路公社 対 対 が 道路管理者	社 地 方 道路公	社の道路公	路公社以外 道路管理者	地方道路公	社と地方道路公	
路 公 社 等 道 路 管 理 者	社 地 等 道 路 公	社等の路公	外 路 び 地 方 道 路 管 理 者	社等が協議	社等と出路公	

	十六	十 五	十 四	士	+		
第四十七条	第四十五条	第四十四条	第四十一条	第三十九条		第三十九条	第二項十八
が 道 路 管 理 者	道路管理者	道路管理者	道路管理者	道路管理者	理者当該道路管	道路管理者	
八号若 一項第八条第二十 第二十 第二十 第二十 第二十	社は、地方道路公	会機構等又は	路公社が方道	機 構 等	路公社出方道	地方道路公	
二条 措置 道	が 道 社 地 方 道路 公 地 方 道路 公 地 方	社等	路公社等 道路管理者	社等	路公社等 道	社等は路公	

力		+ +
	第 五 十 七 条	
者  認  管  に  同  を  理  よ  の  乗  が  道  成  成  変  な  な  な  な  な  な  な  な  な  な  な  な  な	以 外 の 者 者 者	
た 承道 で限管に本第規項十別道 お記行を理よ文二に第七指置 を出するの十に七十条置 を公う代表のは規四よ号第法備 けの方つ権路定条りの一第特	の 者 と び 地 方 道 路 管 理 者	を れ 代 路 定 四 第 第 元 の 理 まり 第 十 者 限 こ に 道 規 二 条
第し道で限管に本第規項十別道三く路行を理よ文二に第七指置路十は公う代者るの十に七条置置整二同社地わの道規四よ号第法備条法若方つ権路定条りの一第特	外 路 び 地 大 は 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	交 者 権 て 者 り の 第 七 し 通 又 限 こ に 道 規 二 条 は 大 は を れ 代 路 定 四 一 第 第

	第四項 年 条	
基づく処分	理か職)いび下を道受限定条(第路管員のでは、同によりの二十十里員がある。お及以長海を権規七十者に監ちの。お及以長海を権規七十十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	
第八条第一 基づく処分	理か職 以者料規条置理有機 員に下を道に第第十二道路 が、同い路等の項件別道路 の。。理有に八措路管は	
第十七条第十七条第	じ 監 ち の 社 地 理 か 韻 ら 員 の 。 道 。 ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ろ る ら ろ る ろ る ろ る ろ	けの土つ公をりの た承通でに大道権により を一大の一人では、 を一大の一人では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は

								十九																	
-																									
の 者が行うも	料道路管理	行う	1.	わつて機構		により道路	九号の規定	くは第二十	十七号若し	三号、第二	号、第二十	号、第十九	号、第十七	七号、第九	条第一項第	くは第十七	十三号若し	しくは第三	三十一号若	十七号、第	三号、第二	号、第二十	、第二十一	、第十四号	項第十三号
			の :	臣が行うも	土 7	に代わって	方道路公社	定により地	第四項の規	十二条の二	は同法第三	もの若しく	公社が行う	て地方道路	者に代わつ	り道路管理	の規定によ	第二十九号	号若しくは	、第二十七	第二十三号	第十九号、	第十七号、	、第九号、	一項第七号

第十五条 法の規定により機構及び会社又は地方道路公社が行う道(道路法の規定の適用についての技術的読替え)

<u>-</u>	
第九十三条	
理者 道路管	処 路 定 第 完 二 理 よ 項 項 る の 道 規 は
路公社	理有規は一処るのく第わ管に五一第十第同者料定第項分機規は一つ理よ号項十九一法の道に二若又構定第項て者的第七号項第処路よ項しは等に二若行に道規三条又第八分管るのく第のよ項しう代路定十第は三条
路公社等 道	大るのく第わ路よ項条法処道に二若行に道規三条同臣国規は一つ公りのの第分路よ項しう代路定十第法の土定第項で社地規二三又公るのく第わ管に五一第処交に二若行に方定第十は社地規は一つ理よ号項十分通よ項しう代道に四二同の方定第項で者りの第七

第十五条 法の規定により機構及び会社又は地方道路公社が行う道(道路法の規定の適用についての技術的読替え)

の区分に応じ、それぞれ同欄に掲げる字句とする。 規定中同表の第三欄に掲げる字句は、同表の第四欄に掲げる場合場合において同法第三十二条第四項中「道路管理者」とあるのは場合において同法第三十二条第四項中「道路管理者」とあるのは小項の規定による道路法の規定の適用については、地方道路公社路(高速自動車国道を除く。)の管理についての法第五十四条第路(高速自動車国道を除く。)の管理についての法第五十四条第

	八 一	項					
の 三 第二 十 二 項 条	(鮥)	規 読 定 替 え る					
路 二 二 以 上 者 道	(路)	れ 読 る 幸 も ら					
十 措 路 管 他 の会 社 及 で 選 者 (	(略)	次に掲げる場合の区次に掲げる場合の区域構及び会 地方道 と 動車国道を 動車国道を 動車国道を 動車国道を 動車国道を がにあげる場合の区 はが行う道 という道 という はいっしょう はいまい はいまり はいまい はいまい はいまい はいまいま はいまい はいまい					
項 措 路 理者 (道 路 第 別 道路公 に 別 が は か が は か が は か が は か が は か が は か が が が が	(略)	る場合 本替える字句 の 除く。)の 除く。)の で理につい で適用につい 場合 の に適速自 が はが行う道路公 で はが行う道路公					
		-					

規定中同表の第三欄に掲げる字句は、「地方道路公社」とするほか、次場合において同法第三十二条第四項が行う道路(高速自動車国道を除く路(高速自動車国道を除くの適 の規 そ れ れぞれ 同 掲 は次項中 適 管 の中 用理 に 表の道 のつつ 表の第二階がでは、いての法 nとする。 者」 い地 掲 第 に 

) ( 新 設	八 <del>-</del>	項						
(新 設)	(略)	規 読 定 替 え る						
(新 設)	(略)	れ る 孝 句 ら						
(新 設)	(略)	次に掲げる場合の区分 本でで読み替える字句 を (高速自 路(高速 動車国道を 動車国道 路(高速自 路(高速 で適用する で適用する 場合 場合 場合						
(新 設)	(略)	版じて読み替える字句 にじて読み替える字句 という道を 動車国道を 動車国道を 動車国道を 動車国道を の か行う道 とい行う道 とい行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道 をはが行う道						

_ + -	<u>- </u> +	十九九
第二十二条	第二十八 の三第二十八 の三第二十 の三第 第五項及 項 条	
道路管 理者	路管理理者道	
路管理者( 会社及び道	路管理者等	じに社地に社規条法ので道社規項 。おので第第第会は路管定第 が第道の理すー三社当に理する でである。 ではある。 でのでは、 でので、 でので
管 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選	路管理者等	) い 第 道 該 あ 管 定 第 第 理 路 他 て 道 社 規 て 三 路 他 つ 理 す 一 三 な か は 路 管 定 同 項 公 の て 道 る 項 十 る 社 地 会 に 理 す じ に 社 地 は 路 公 に 一 同 が 方 社 あ 高 る 。 お 。 方 当 に 社 規 条 法 管 道 、 つ 速 会
	) ( 新 設	
(新 設)	(新 設)	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(新設)	
(新 設)	(新 設)	
新設)	(新 設)	

二、二四十十五	二 十 四	=  · -  -  +  -  +  -
(略)	の 二 第 二 十 八 項 条	(略)
(略)	要う効路密議に改い関踏に三十法和促踏関踏連なた果の接そ関良う連切規条五律三進切連紛調協め的管関のすの。道道定第号第十法道道調議にに理連他る方)路密すー)百六(改路密整必行を道の協法のを接る項第九年昭良(接	(略)
(略)	連 絡 調 整	(略)
(略)	連 絡 調 整	(略)
ハ <u>、ニ</u> ミナ ナー	) ( 新 設	二十九十九十十九十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十
(略)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(解)
	N.	
略)	(新 設)	(略)
略)	(新 設)	(略)
(略)	(新 設)	(略)

2 に法よ町 のる村法 規道道の げ る字句 定路に規 中法限定 同かる。 に 表規の定 とする。 ょ n 第のの有 適管 料 欄 用理道 に掲 にに路 つつ管 げいい理 いては、いての法と 法 行 は、 次 第 う の五道 それぞれる 表十路 第条都道 同欄 府 最表の第四欄 「現の規定に 「現の規定に

2

三十一四	+	九	一〜人	項
(略)	第三項第二十二条の三	第一項第二十二条の三	(略)	法の規定
(略)	道路管理者(	理者二以上の道路管	(略)	字句字のおる
(略)	及び道路管理者有料道路管理者	及び道路管理者	(略)	読み替える字句

技 え軍 国 道 法 0 規 定 に よる 道 路 法 0 規 定 0 適 用 に 0 1 て

第

第 路同国理 +保 法道に六 有 第二 債 二十法の 一十五条中の規定に 務 返 済 機構 「 協 規 四 よ ∞議」とあるのは処定による道路は1条第一項の規定の規定による道路はよりである。 以 下 機 構 は法定社 のは、お行いない。 لح よりう 11 · う。 立定 う 行政道 適 高 用 速 法用 又は会社 す 自 人にる
日つ高 動 車 社本い速国が高て自道 協速は動の 議道、車管 議道 車 管

> 法よ町  $\bigcirc$ る村法 げ 規道道の る字 定路限定 同のるに 句 表の定 とす ょ n うる。 第のの有三適管料 欄 用理道 にに路 つつ管 掲 げ いい理 ては、ての法 者 が 行う は、 次第 道 の五 それぞれ 表 + 路 の四 第二条 都 第 道 同欄 府 表の に項 県 掲の 道 第四 げ規 及 る定び 欄同に市

[	) (新	) (新		項
九  二 〜 三	新設	新設	八	垻
(略)	(新設)	(新設)	(略)	法の規定
(鮥)	(新設)	(新設)	(略)	字句字のおる
(盛)	(新設)	(新設)	(略)	読み替える字句

技 術高 速 自 動 え 車 玉 道 法 0 規 定 に ょ る 道 路 法 0 規 定 0 適 用 に 0 1 て

0

路同国理 + 保 法道に六 第二十二年 (第二十二年) (第二十三年) (第三十三年) (第三年) ( 有 債 務返 済 機構 「協議」と 条第 以 機 とあ 下 構 る項 及 が道路になる。 機 構」 会社 法にのに は法 とい 強 が により 規 行 , 5 、 う。 立行の 適 高 政 適 用 速 又 法 用 す 自 は 人 日 つ る 動 会社 高 車 本高で自 玉 が 道 速道 協 動の 議道 車 管

十はがと十理四一協、二者 < 同七必 げ も定 路 道  $\mathcal{O}$ は 管 項 要 第十九号、第二段第三十三号若五 号、 第 は、 基 同 若 ょ 定 理 第 中 な す しくは づく 三十 三十九札 を」と、 に ŋ 法 Ξ 者 協 る 項 踏 同 をは、 」とあ 第二十 第四 項中 法 道 協 切 法 処 第二 げ 路 議 規 道 十七 る同 占用 管 分で道路: 機 条 有 そ 定 改 るのは「機気構が」と、 十 理者 · 号、 同 道 あ 料 第二十三号、  $\mathcal{O}$ n  $\mathcal{O}$ す 良 同法第七十一条第四項中 -七条の十八第二項中「協定坦路管理者」とあるのは「 しく 五 指 五. 法 道 る 他 る 促 八 路管 に代 第二  $\mathcal{O}$ 踏 条  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 進 条 規 整備 「機構  $\mathcal{O}$ 第二十三号、 同 は は 密 切 法 0 とあ 理者が 規 第 項 定 わ 接 道 定に 中 連 関 昭 中 つて機構若 + 特別措置 同 密 第 第二十 は、 るの 接関 同 七 「道 法 絡 連 和 行うも より 表の 条第一 第四 五. 調 道 項 会社 路 は 整 路 連 十 中 十五 第二十-読 法 管理 第 七 機  $\mathcal{O}$ 道 لح 号若 第八 *(*) しく 項 が」と、 管 連 4 路 年 第 替 基 道 者 定を」とあ 条 構 げ 理 を 法 絡 とするに 八条第一 しくは 七号、 こえた同 る字 に掲げ は、入が入 を効 は  $\mathcal{O}$ 同 律 調 一づく処 入札 路管 地 法 う 第 整 第二 方道 同 第三 果的 げ 百 第九号、 とあ 第二十 とす 表の 項 る ほ 法 占 踏 理 九 字 か、路 者  $\overline{+}$ 第 分 るの 第四 用 項 に 0 十 切 十三号、 公 号、 中 行 第 句 又 る 指 九 改 五. 道 〒三号、第 とあるのは「機構 四 社 は機構」 社が号 一号 + うた を 次  $\mathcal{O}$ 条 良 密 Ė 道 第 は 高  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 接 表行の規七し と 条路の管 「道 に 速 8 方 第 関 第 に 法 自の 連

六六	項
(略)	定 道路 法 の 規
(略)	れる字句
(略)	句 を 定により ま を ま り ま た き き た ま り 読 れ た ま り 読 れ た れ た れ た り た た れ た り た う た う た う た う た う た う た う た う た う
(略)	字句を替える

第二十七 っの社 も若 七 法 項 十 管 項 協 Ħ. 号 第 中 は が 理  $\mathcal{O}$ 八条第 若し 第七 欄 Š 定 条 者 構 「基づく と、 えた同 と 道 は を」とあ  $\mathcal{O}$ は が 同 つする くは 号、 地 路 入 法 7、第九号、第十七号、第十九号、第一、第三十一号若しくは第三十三号若し一項第十三号、第十四号 (単) 方道 管理 第三十 げ 同 とあ る字句 処 表の 占用 ほ 法 者又 るの 路 分」とあ カン 第 第四 公 兀 中 る 九 を高 は 社 十七 次 は  $\mathcal{O}$ 針 機 道 0 が 機 は 0 るの 条の 表 行うもの 構」と、 速 路 管 自 0 構 掲 + げ 十は 理 動 第二欄に が 路 七 る字 者 車 協 法 項 「基づく 第三十 定を」と、 若 玉 同 は 理 中 三項 句 しくは 者 道 法 掲 第 は 法 は 四 لح 第二十五 げ 路管理者に 中 札 処 九 分で道 十七 それぞれ る同 あ 有料 機 占 道 るの 同 用 第二十三号、 構  $\mathcal{O}$ 号、 条の 法 路 法 道 が Ŧī. 路 < 条 路 第 管  $\mathcal{O}$ は 第 管理 十八 0 代 七 同 規 は 理 第二十三号、 整 || 者 第十 +規 定 わ 備 の 者 つて 一条第 定 中 第 特 構 同 中 あ 第二 とあ に Ė 法第 同 別 は、 第 が 道 る 二条 第 機 項 ょ 五. 表 行  $\mathcal{O}$ 四中る 会 四 りの 構 置 路は う

<u>六</u>	垻
(略)	定 道 路 法 の 規
(略)	れる字句
(略)	句 お を に よ り 読 え た ま の 規 え た ま の 規 え た え た え た え た え た う た え た う た え た う た う
(略)	字句を替える

七五

る字

句

十九七二二	八	七
(略)	第二十二年	第二十二条
(略)	道路管理者	路管理者道
(略)	管理者 管理者(密 と を を を を を を を を を の の の の の の の の の の	管理者と関する。
(略)	路管理者 等 選者等 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次	路管理者道

(略)     (新設)       (新設)     (新設)       (新設)     (新設)
--

 $\bigcirc$ 高速自動車国道法施行令 (昭和三十二年政令第二百五号) (抄) (第三条関係)

(傍線の部分は改正部分)

						第	
	五		四		項	えは、次のは、次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	
第二十二条の三	第二十二条の二第一項、第五項、第五項、第五項、第五項		第二十二条の三	(略)	法の規定 語み替える道路	の表のとおりとおける同条第二十五条第二十五条第	改
道路管理者(密	理者密接関連道路管	理者二以上の道路管	道 路 (	(略)	字句字のおる	規定による同法の規定により道 の規定により道	正案
国土交通大臣及	理者等	び道路管理者	高速自動車国道 関道以外の道路	(略)	読み替える字句	成定の技術的読 伝の規定を適用	
	$\sim$		$\overline{}$	_		第十二条 えは、 会 は、 会 発	
(新 設	新 設		新設	<u>\$</u>	項	次 に 法	
(新設)	(新設)		(新 設)	(略)	法の規定	の お ま り ま り え え た え た た た た た た た た た た た た た た た	現
(新設)	(新 設)		(新 設)	(略)	字句	する。 する。 項の規定による同法の規定の技術的読一項の規定により道路法の規定を適用ついての技術的読替え)	行
				†	<del>                                     </del>	の敗う	
(新設)	(新設)		(新 設)	(略)	読み替える字句	とおりとする。同条第二項の規定による同法の規定の技術的読替十五条第一項の規定による同法の規定の規定を適用すの適用についての技術的読替え)	

	1		
+1	八.	七	六
	九		
第一項	(略)	第二十四条	第三項
に関する路切道密接関連道路 「関する路切道密接関連道路 をいう。 に関する協議 に関する協議 に関する協議 に関する協議 に関する協議 に関する協議 に関する協議	(略)	第十二条第三項、第十七条第三項、第十九条から第八項まで、第四十九条から第一十九条の三まで、第四十八条の三まの十九条の三まの十九条の三まの十九条の三まの十九条の三まの十九条の三まの十九条の三まの十九条の三まの十九条の三まの十九条の三まの十九条の三まので、第四十八条の三まので、第四十八条の三まので、第四十八条の三まので、第四は第四項を対象を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	者関連道路管理
連 絡 調 整	(略)	第二十二条の三第二十二条の三は高速自	理者等 密接関連道路管
	I	ml	
(新 設	五 · 六	四	
(新 設)	(略)	第二十四条	
(新 設)	(略)	第十二条第三項、第十二条の十九条から第一次第二項、第一十二条の二十二条の二十二条の二十二条の二十二条の二十二条の二十二条の二十二条の	
(新 設)	(略)	第二十一条の二十一条の二十十二条の二十十二条の二十十二条の二十十二条の二十十二条の二十十二条の二十十二条の二十十二条の二十十二条の二十十十二条の二十十十十十十十十	

三十一四		) (削 る
(略)		(削る)
(略)		(削る)
略)		(削る)
十八二	七	
(略)		第二十八条の二
略)	三以上の道路管 三以上の道路管 三以上の道路管 三、 三、 三、 三、 三、 三、 三、 三、 一項に規定する 一項に規定する 一項に規定する 一項に規定する 一項に規定する 一項に規定する 一項に規定する 一項に規定する	道 路 (以下
略)	国土交通大臣及国土人で通大臣及	(以下 国道以外の道路 及び高速自動車

 $\bigcirc$ (傍線の部分は改正部分)日本道路公団等の民営化に伴う経過措置及び関係政令の整備等に関する政令(平成十七年政令第二百三号)(抄)(第四条関係)

			2 第	
項第二十二条の三第一	(略)	規定 競み替える道路法の	おりとする。 に、(管理有料高速道路に ではのでは、の規定の適 では、のでは、の規定の適 では、のでは、のでは、のででである。 に、できますが、できまますが、できまますが、できまますが、まままますが、できまますが、まままますが、ままままますが、ままままますが、ままままますが、ままままますが、ままままますが、まままままままが、まままままますが、ままままままが、まままままが、まままままままま	改
者 二以上の道路管理	(略)	句が考えられる字	が より 記 が が が き き き き き き き き き き き き き き き き	正
管理有料高速道路 「理有料高速道路承継会社及び道路 「理有料高速道路承継会社及び道路 「の管理有料高速道路を を設定が管理する管理 「関において同じ。」 「関において同じ。」 「関において同じ。」	(略)	読み替える字句	読替えは、次の表の(昭和二十七年法律)の規定の適用につい	案
(新設)	(略)	規定 読み替える道路法の	過 垻 垻 (	現
(新設)	(略)	読み替えられる字	用についての技術的の規定により読み恭の規定により読み恭係る新特別措置法等	4-
新設)	(略)	読み替える字句	で 記読替えは、次の表のと で で の 規定の 適用について で の 規定の 適用について	行   

			-
(略)	項 第二十八条の二第一	第二十二条の三第三	第二十二条の三第一項、第二十二条の三第一
(略)	連絡調整、踏切道 密接関連道路(踏 部一項に規定 三条第一項に規定 三条第一項に規定 可改良の方法に規定 を被関連道路の他の する協議その他の する協議その他の ででである。)	関連道路管理者(密接	者  密接関連道路管理
(略)	連 絡 調 整	道路管理者等 管理者(密接関連 管理有料高速道路	者等 関連道路管理
(略)	(新 設)	(新設)	(新設)
(略)	(新設)	(新設)	(新設)
(略)	(新 設)	(新設)	(新 設)
	(略) (略) (略) (略)	E     連絡調整、路切道     (略)     (略)     (所)       (略)     (略)     (所)     (所)	T-1-1-1-1-1-1-2

道路の修繕に関する法律の施行に関する政令 (昭和二十四年政令第六十一号) (抄) (附則第二項関係)

(傍線の部分は改正部分)

 $\bigcirc$ 

あるのは「同条」と読み替えるものとする。	る部分に限る。)」とあるのは「道路の修繕 。この場合におて、同令第四条第二項中「第二条第一項(第 により指定区間の一般国道の修繕をする場合について準用す 部分を除く。)	る部分を除く。)の規定は、国土交通大臣が法第二条第一項の規 令第四条第一項第一条第一項(第一号に係る部分を除く。)及び第五項(第一号に係 条第一項(第一号第四条 道路法施行令第四条第一項(第一号、第四十二号、第四十 第四条 道路法施行国土交通大臣の権限)	改正案
は「同条な法律の	合において、同令第定区間外の一般国道く。)の規定は、国	条第一項第一号に掲げる権限に係項(第一号に係る部分に限る。)び第四十六号に係る部分を除く。道路法施行令第四条第一項(第一交通大臣の権限)	現
。と、「同条第二項」とああるのは「道路の修繕に	四条第二項中「第二条第一項(第一の修繕をする場合について準用する土交通大臣が法第二条第一項の規定	係る部分に限る。)に係る。)及び第五項(第一号(同)及び第二項並びに第六一号、第四十二号、第四十一号、第四十二号、第四十二号、第四十二号、第四十二号、第四十二号、第四十二号、第四十二号、第四十二号、第四十	行

 $\bigcirc$ 都市再生特別措置法施行令(平成十四年政令第百九十号) (抄)

(附則第三項関係) (傍線の部分は改正部分)

4 (略) 4 (略) おります (本)	十二条第一項の規定に係る部分に限る。)、第四号及び第十三号係る部分に限る。)並びに第四条の二第一項第二号(道路法第二道路法第九十五条の二第一項の規定による意見の聴取又は通知に	八号、第三十九号、第四十一号、第四十二号及び第四十七号認があったものとみなされる協議に係る部分に限る。)、第三十六号(道路法第二十四条本文の規定による)の表別による。	本文の規定こよる承認があってものとみなされる協議に系る限る。第三項において同じ。)、第三十五号(道路法第二十る部分に限る。)の規定による通行の禁止又は制限に係る部、第二十号、第二十一号(道路法第四十六条第一項(第二号	法第二十二条第一項の規定に係る部分に限る。)、第四号、第五という。)は、道路法施行令第四条第一項第一号、第三号(道路に代わって行う権限(第四項において「市町村が代行する権限」第二十三条 法第五十八条第四項の規定により市町村が道路管理者 第(道路管理者の権限の代行)	改 正 案
4 (略) 4 (略) おります (では) (では) (では) (では) (では) (では) (では) (では)	十二条第一項の規定に係る部分に限る。)、第四号及び第十四号係る部分に限る。)並びに第四条の二第一項第二号(道路法第二道路法第九十五条の二第一項の規定による意見の聴取又は通知に	八号、第三十九号、第四十一号、第四十二号及び第四十七号認があったものとみなされる協議に係る部分に限る。)、第三十六号(道路法第二十四条本文の規定による)の表別による。	本文の規定こよる承認があったものとみなされる協議に系る限る。第三項において同じ。)、第三十五号(道路法第二十る部分に限る。)の規定による通行の禁止又は制限に係る部、第二十号、第二十一号(道路法第四十六条第一項(第二号	法第二十二条第一項の規定に係る部分に限る。)、第四号、第五という。)は、道路法施行令第四条第一項第一号、第三号(道路に代わって行う権限(第四項において「市町村が代行する権限」第二十三条 法第五十八条第四項の規定により市町村が道路管理者(道路管理者の権限の代行)	現行